

ベストクラス選定理由書

作成者：毎床愛美・吉川朋希・池田京子・森谷幹子・山中一英・三上孝治・古田和士・持田魁人・糟谷樹理・マーフィ藍

科目名称 発達・学習支援特論（夜間クラス・フレックスクラス） <div style="text-align: right;">（担当教員名：細谷里香）</div>	
課 程 ： 大学院（修士）	開講時期 ： 前期
授業形態 ： 講義・演習	授業規模 ： 30人以下
インタビュー対象教員名：細谷里香 （実施日時：8月25日；実施場所：Teams上）	
インタビュー対象受講者名：山口麻衣子、扇原弘充 （実施日時：8月26日・9月5日；実施場所：Teams上）	
<div> <div>選定理由</div> <p> 本科目は、受講生による高い授業評価を受けていた。また、「グループディスカッション」「フィードバック」など、特徴的な記述も見られた。それらについて担当教員にインタビューした結果、以下のような点に留意した上で授業が構成されていたことを確認した。 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現職教員、ストレート生など多様な背景の学習者に対応できる授業を工夫 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事前アンケートで学生の属性（現職／ストレート生など）を把握 ➢ 資格取得やメリットを意識した授業設計 ➢ 課題の選択制を導入し、個々の興味やバックグラウンドに応じた学びを促進 ➢ 理論と実践の融合（現職教員が持つ「実践知」と理論を組み合わせること）を重視 ➢ 非同期でも能動的に学べるよう「調べ学習」を採用 ➢ 初回授業の方法や流れ、授業内で取り組む課題内容やそれに基づき交流することを事前に伝え、心づもりを促した ● 志のある先生の実践を応援したい、自由に学びを深めてもらいたいという思い <ul style="list-style-type: none"> ➢ 学生のレポートや課題に丁寧に目を通す ➢ 学生それぞれのバックグラウンドを尊重し、得意や関心を伸ばす ➢ 学生の率直な思いを受け止めて授業内で共有・還元 <p> 上述の教員の取り組みに対し、受講生もまた以下のとおり述べており、教員の意図が明確に受講生に伝わっており、なおかつ心理的安全性の高い授業になっていたことを伺えた。 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受講者同士で交流できたのがよかった。他の人の意見も取り入れながらレポートを書けた。 ● 先生はいつも交流を温かく見守ってくれていた。質問もしやすい雰囲気、いつも丁寧に回答してくれた。それぞれが提出したレポートの内容を毎回次の授業で共有してくれたのも、理解を深める助けとなった。 ● 理論と実践を多面的に捉えることを意識するようにしてくれていた。 <p> 以上のことから、本授業を令和7年度「ベストクラス」として選定する。 </p> </div>	